

平成27年度第3回社会教育委員会議 会議録

【開催日時】 平成28年3月17日(木) 午後3時から4時まで

【開催場所】 教育委員会 大会議室

【出席者】

(委員)

浅間委員、飯牟礼委員、飯山委員、岡本委員、佐中委員、佐野委員、椎谷委員、伴委員、藤間委員、森委員、山田委員、渡邊委員 (12人)

(職員)

小林生涯学習部長、増田生涯学習部次長(兼生涯学習課長)、西沢文化・スポーツ課長、斉藤鳥の博物館長、今井生涯学習課主幹(兼公民館長)、大野公民館長補佐、小林文化・スポーツ課長主幹、辻文化・スポーツ課長補佐、宇賀神図書館長補佐、安富鳥の博物館長補佐 生涯学習課 望月 鳥畑

【傍聴人】 1人

【会議次第】

- 1 開会のことば
- 2 社会教育委員長挨拶
- 3 生涯学習部長挨拶
- 4 議事(議長:渡邊委員長)
 - ①平成27年度社会教育事業の実施状況について10月～2月(資料1-1、1-2)
 - ②平成28年度予定事業及び予算要求の概要について(資料2)
 - ③「我孫子市第三次生涯学習推進計画」の策定について(資料3)
 - ④「我孫子市生涯学習審議会条例」の策定について(資料4)
- 5 閉会のことば
- 6 解囑状交付

【配布資料】

- 資料 1 平成27年度社会教育事業の実施状況10月～2月
資料 2 生涯学習部平成28年度予定事業及び予算要求の概要

【議 事】

(1) 報告事項

- ①「平成27年度社会教育事業の実施状況について」(資料1)各担当課から報告。
○生涯学習課長:生涯学習課企画調整担当の27年度10月から2月までの事業報告をお

こないます。資料1-1の1ページをご覧ください。1に社会教育委員会議とありますが、皆さんご存知のとおり11月9日と本日の3月17日にひらいております。(2)社会教育委員研修会1月22日におこないました東葛飾地区の社会教育委員の研修会をおこなっております。手賀沼の水の館の3階での研修会、鳥博の学芸員の塩田さんの公演と鳥の博物館の見学会をおこなっております。成人式、1月9日におこなっております。のべ参加人数が対象者1256人ですが940人が参加いただいております。前年度よりやや減っておりますが東葛管内として我孫子市はかなり多い方になっております。続きまして3地域交流教室についてはほぼ前年度とかわりない状況で使用しております。後援事業については記載のとおりです。3ページ5の視聴覚ライブラリー、10月から2月までの利用状況を記載しておりますが前年度と比べますとやや減少しております。次のページの16ミリの教材の貸出、ビデオソフト、ビデオソフトについては前年度同様ほとんど借り入れはございませんが、DVD、16ミリもかなり前年度に比べると貸出件数は減っております。後ほど予算の関係で予算のところで説明しますが、貸出件数が年々減っておりますので予算の方も28年度はかなり減少しているようになりました。6生涯学習推進本部およびあびこ楽校協議会の事業報告は記載のとおりです。その中で5ページの(2)第三次生涯学習推進計画策定部会、これは社会教育委員の皆さんから何名か出ていただいて、会議を開催いたしまして2月の20日の会議で最終的な報告をおこなっております。(3)生涯学習推進事業、これはあびこ楽校協議会と生涯学習課が共同でおこなっている事業ですが、平成28年2月6日川村学園女子大学で小出義雄さんの公演会、小学生を対象にしたかけっこ教室、一般を対象としたジョギング教室をおこないました。参加人数ですがのべ599人の方が参加していただいて大変盛況に終わりました。以上で企画担当の事業報告を終了します。

- 公民館長：1-1資料の7ページからになります、生涯学習課公民館担当ということでご説明させていただきます。27年度の公民館事業につきましては、1番の学級事業こちらの方は年々変わりはないのですが、(1)の長寿大学4年生の学級になっております。表の見方ですが、対象の右側に定員がございます。この定員というのは27年度の当初の定員になります。で、一番右側の受講者数、こちらのほうが2月現在の在籍されている学級生の数ということになります。54人当初いらっしゃったのが49人に減ったと1年生についてはそういったことになります。学年それぞれあがっていくと様々な事情がございましてご自身の方体力的なものそれからご夫婦があれば奥様や旦那様の都合によりだったりとか、我孫子から引っ越されたりの事情があって、毎年のことですが少しずつ減る傾向はいたしかたないのかなというところがございます。ただ今年の2月までですが、2月の末に卒業式がありましてそのときには4年間皆勤賞という方が10名もおられたということでここ近年にない多い人数で、皆さんまだまだ長寿大学を一生懸命通われて楽しんでいただけているんだなと引き続き頑張っていきたい学級だと思っております。(2)の家庭教育学級の対象は小学校1年生、新入学したお子さんをお持ちの保護者の方で、定員が50だったのですが47のままだったのですが、受講者数については1名ほど途中でお辞めになられたというかたちになります。プチ家庭学級というのが表の中にあるかと思いますが、こちらは家庭教育学級1年間通うのは大変だけど、どんなことをやっているのかというPRも含めまして、湖北地区公民館の方で

結構アンケートで状況のよろしい3講座を集中的にさせていただいております。概ね対象となる保護者の方の出席があった場合には引き続き新年度において家庭教育学級に申し込まれる件数が多いものですから、こちらの方も続けていきたいと考えております。(3)のびのび親子学級はアビスタが3コース、湖北地区公民館の方で火曜コース1コースがあります。こちらの方も各コースそれぞれ実施回数が12回になっています。1回の講座についてはすべて同じ講座を皆さんで受けていただくようになりますので、お一人の先生が4回お願いしているかたちになったと思います。こちらの方も一番最後にプチのびのび親子学級というのがございます。こちらはだいたい参加が東我孫子でいえば東方面が少ないものですから、地域交流教室、布佐小学校の教室を借りまして3回分のコースで実施しているところです。市民カレッジ、こちらは18歳以上の一般の方を対象にしております。熟年備学につきましては40歳以上の方になりますが、実際最近の傾向としては長寿大学に似たような年齢層になってきているのかなど。ただ4年間通うのは大変だけど熟年備学1年だけでも学んでみたいと思われる方もアンケートの中にはいらっしゃいました。(6)アビコでなんでも学び隊は年間を通してだいたい17回程度予定しているのですが、この期間については8ページにつながりますが6回です。一番集中的に多いのはやはり、小学生と中学生を対象にしているので、夏休みの長期の休み期間を利用しての開設を主に考えております。2番、3番この数字的なものにつきましてはほぼ昨年並みということになっております。5番のアビスタ展示スペース利用状況については、アビスタの中左からストリート、オープンスペース、工芸工作室前、第3学習室前、第4学習室前、ミニホール前とありますけれども、ストリートとミニホール前につきましては壁に展示の形式になります。オープンスペースから第4学習室前までの間はガラスケースの展示になっています。こちらの方もストリートについてはやはり1階の通路の部分1番人気がありまして申し訳ないですが抽選というかたちをとるケースが非常に多い状況でございます。9ページの一番下にあります生涯学習出前講座はすこしずつ年々講座の方も登録される先生方も多くなっている状況であります。10ページからの利用の件数につきましても、少しずつですが対象の市民団体、市民グループ、自治会サークル等、それぞれ申し込まれるような学習の出前講座になるのですが少しずつの傾向になりますが増えている状況になっております。それから資料の方の1-2で湖北地区公民館の実施講座の中間報告が先日いただきましたので、4月~12月までの中間報告ということでいただいたものを今回提出させていただきました。ほぼ4月~12月までの間で69回ほどの開催がございました。以上です。

- 文化・スポーツ課長：文化・スポーツ課は3つの担当に分かれておりますので、本日は担当別にご報告したいと思います。まず、文化振興担当12ページから14ページの3ページにわたりますが、この中で1番、2番、5番につきましては前回ご報告しておりません。今回あらたに今年度やっておりますので今回報告になります。3番、4番につきましては4月からずっと継続してやっておりますので、10月から2月分ということで集計をさせていただいております。1番我孫子市文化財展・寄贈絵画展というかたちで1,073人の方にご来場いただきました。これにつきましては、文化振興担当・歴史文化財担当合同で同じ場所で同じ時期に同じ会場で、絵の展示会と文化財の展示会を開催しております。客層がちよっと違いますので、違う客層の方に一緒にみていただくということでこの人数が入ったというこ

とでうまく成功した例だと考えております。続きまして2番メルヘン文庫、今年度は中学校の部が9名ということで受賞者が増えております。全体としては19名ですが、今年は中学生の作品が多く充実していたということでこのような結果がでております。3番4番につきましては、さきほど言いましたとおり4月から引き続きの今回10月から2月分特に4番の文化財につきましては10月11月の段階で変化のあったものを記載させていただいております。文化振興担当は以上です。

- 文化・スポーツ課長補佐：変わりまして歴史文化財担当、15ページからになります。一番最初の文化財審議会ということで、今回は湖北台団地のすぐ西側にあるヤツミュージアムというところで発生しているヒカリモについて市指定文化財ということで2月26日に最終的には市指定になりました。ご報告です。文化財の発掘調査、2番3番につきましては、特に3番ですが今年度については上半期から民間開発の発掘調査が大変多く、湖北小学校のすぐ西側で宅地造成による発掘調査を数多くやっております。4番文化遺産の活用ということで説明版の差し替え、この資料では調整中と書いておりますが、我孫子市の指定文化財になります日立精機2号機の説明が差し替えをしております。あびこ電腦考古博物館については市のホームページの方に移管する作業を終了いたしまして先週3月11日頃からリニューアルして公開をしております。村川別荘、白樺文学館、杉村楚人冠記念館では事業を様々な工夫をおこないまして集客をはかっております。特に白樺文学館については原田京平という白樺派に続く芸術家にスポットをあてた展示会を実施しております。杉村楚人冠記念館では杉村楚人冠に関係する資料としてアサヒグラフ、川村蜻山の陶芸に関わるようなものの展示をおこなっています。最後ですが旧井上家住宅の保存と活用ですが今月の3月22日で27年度の整備が完了する予定で表門、裏門、外堀の保存整備工事を実施しております。以上です。
- 文化・スポーツ課主幹：スポーツ推進活動事業として今年はポールウォーキングに重きをおいて教室を主にやりました。27年度については単発というつながりなくやったのですが、来年度はつながりをもってやっていって参加人数を増やせればなと思っています。3番体育施設の利用状況ですが、市民体育館は27年度指定管理者が変わりまして、トレーニングルームの利用人数が前年度増し250%から300%かなり活発に市民の方がスポーツに興味をもっていただいているなどと思えました。18ページのキャンプ場ですが10月以降になりますと宿泊キャンプの人数が減っていくのですが、今年度はヤフーのほうでたまたま取り上げていただいて市外の方の利用が多くなりました。以上です。
- 鳥の博物館長：鳥の博物館の事業をご案内いたします。19ページから21ページになります。事業報告、10月から2月ですが1年間まとめて事業の内容をご案内したいと思います。今年度は博物館開館25周年ということで記念事業として名誉館長による記念講演会を実施しました。またジャパンバードフェスティバルで鳥学講座をおこなっていますけれどもJBF15ということで特にスペシャルトークショーを国立科学博物館の真鍋研究員と山階鳥類研究所の林所長との対談形式の鳥学講座を実施しました。博物館の展示が25年たって代わっていないということでリニューアルが望まれるのですが、なかなか財政的なこともあり、ただ内容はアップデートしていかないといけないということで、展示の中にタッチ式のデジタルサイネージを導入して公開し始めました。また、昨年7月1日から新しいホームページにリニューアルしました。その他博物館周辺の自然を展示のひとつとみなすフィールドミュ

ージウム構想ということで博物館の周辺の自然を探索する手賀沼定例探鳥会、「てがたん」を毎月おこなっています。市民スタッフや友の会の方達と共同で色々な調査あるいはイベントをおこなっております。それから2番目に入りますが各事業別の個々の事業の内容になっております。博物館の基本的な業務として物を収集保存してそれを調査研究して、それを一般にわかりやすく伝えるというかたちですがその三本柱に沿って書かれています。2番目の教育・普及活動の中では常設展示ですが、これも先程申したリニューアルが望まれるのですがなかなかできない事情もあって、ただ魅力を再発見してもらう、色々な貴重な標本がありますのでその魅力を再発見してもらうということで、学芸員が館内を案内したり、博物館に登録された市民スタッフというボランティアさんに案内していただいております。博物館にあるオーデュボンの銅板複製画ですが、階段のスペースを利用して、ギャラリー的に観賞していただいております。それから先程申しましたように2階の手賀沼のコーナーにデジタルサイネージを導入いたしました。(2)企画展ですが時期を区切ってタイムリーな話題で色々なテーマを開展するという展示です。この中でも友の会の共同ということで、友の会の方達が中心になって友の会展というものも開催しております。もう一つはフィールドミュージウム構想の一環として近くの林の中のふくろうの巣箱にカメラをつけてそれをモニタリングしてそれをもとにした企画展を「フクロウさんちの子育て日記」ということで実施しております。その他の観察会、手賀沼定例探鳥会がたんや我孫子の市内の特徴的な自然を紹介するあびこ自然観察会も実施しております。色々な講座もおこなっております。毎月第2土曜日テーマトーク、隣接する山階鳥類研究所の연구원の方にご自身のおこなっている研究を分かりやすく解説していただくというテーマトークをおこなっております。毎回30人以上の方に来ていただいております。友の会の方達との一緒の事業として室内の啓発イベント、工作イベントとか鳥凧教室、コウノトリの帽子をつくろうといった子ども達が親しんでもらえるようなイベントもおこなっております。21ページの調査・研究活動としては地域の自然、特に鳥の生息状況を把握してモニタリングしていこうということで色々な地域について調査をおこなって報告書としてまとめています。これをもとにまた企画展や色々な展示をつくっています。4番目、資料の収集保存ですが、展示の博物館活動の中心の基本となるのは標本ですので収集をおこなっています。5番目他の施設・他団体との共催事業を行い活動の広がりをもたせたいと考えております。最後に施設の利用者ですが10月から今年は12月は少し昨年より少なかったのですが、それ以外は大体去年を上回ってしまして、全体的には昨年よりも千人くらい多いかなという状況です。今後色々博物館の活動をPRして利用者に来ていただこうと思っております。以上です。

- 図書館長補佐：図書館について報告させていただきます。22ページをお開きください。1番(1)(2)ですが秋の文字活字文化の日を活用して毎年講演会等をおこなっております。(1)は講演会で「常磐線・成田線今昔～我孫子市域の発展を中心に～」ということで「千葉の鉄道一世紀」等の本を書かれている白土貞夫さんという方をお呼びいたしまして、千葉県の鉄道に詳しい方ですが常磐線・成田線の歴史について語っていただいております。参加数120名ということですが内容的に男性の方が多かった公演となっております。文字活字文化の日関連のブックフィルムコーティング講習会ですが、こちらは図書館で汚れ等を防ぐために本にビニールのコーティングをしているのですが、そのやり方の講習等をしておりま

す。アピスタ本館、分館2館でも毎年開いております好評をばくしております。3番から5番ですが、3番、4番については定例のお話会ですけれども3才以下の乳幼児と保護者を対象にした親子で楽しむお話会、それから4才から9才くらいのお子さんを対象としたお話会、移動図書館のステーションで、青空の下でやるお話会そよかぜお話タイムを開催しております。参加人数については記載の通りです。毎月一回離乳食教室での受付、保健センターで離乳食教室での受付時間を利用して乳幼児と保護者への絵本の読み聞かせ及び図書館の利用案内を毎月しています。こちらの方には図書館の市民スタッフに行っていただいて共同で事業をおこなっているということでございます。2番の利用状況ですが記載の通りですけれども10月から1月に関しては11月の貸出数がプラス4.5%、1月がマイナス5%となっていますが、暦の並びで日曜日が多かったりそれで前年度の差がでていのではないかと考えております。その他の月についてはほぼ前年度と同程度になっております。その他の利用状況については記載のとおりとなっております。図書館からは以上です。

(2)「平成28年度予定事業及び予算要求の概要について」【資料2】各担当課から報告。

- 生涯学習課長：予算請求の状況を11月9日にひらきました第2回で報告しております。その時は決定はしていなかったもので、概算要求ということで報告をしております。
- 渡邊委員長：今回は決定でよろしいですか。
- 生涯学習課長：はい。生涯学習企画担当からご報告します。11月に報告したものと違ったところをご説明いたします。視聴覚ライブラリーですが予算請求概要のところでは11月時点では8万2千4百円で金額を報告しておりましたが今回2万5千8百円に減額しております。これについては先程説明したとおり視聴覚ライブラリー自体の貸し出しが年々減っているということで事業仕分けにおいて新たな教材についての購入を控えるということになりましたので予算が減っております。地域交流教室の運営ですが、これも1万減っております。これについては修繕費が実績で減っておりますので減額しております。企画担当からは以上です。
- 公民館長：公民館担当よりご報告させていただきます。1ページの下から2ページまでになりますが、学級講座事業につきましてはほぼ変わらずそのままになります。2ページ目の最後の方になりますけれども湖北地区公民館の指定管理者の選考が昨年の12月の議会で承認されましたのでそのへんは今現在おこなっている株式会社アクティオの方で引き続きやることに決定を致しました。最後の空調機の更新工事になりますけれどもこちらの方は第2期工事、27年度においてはホールとロビーということで皆さんにご協力いただいたうえでの竣工が終わりました。2期工事といたしましては各学習室、調理室、工芸工作室、和室等を実施する予定です。皆さんにご迷惑をかける時期というのは館内にはもう張り紙がしてあるのですが、ほぼあまり利用の多くない時期8月を中心とした時期に考えております。新年度になりましたら早速契約等の準備に入りたいと考えております。以上です。
- 文化・スポーツ課長：一括してご報告したいと思います。3ページから6ページになります。前回お知らせの段階では経常経費を中心にお知らせしております。今回その後財政当局との経常経費のヒアリングで削られたもの、政策的経費で認めていただいたもの様々あります。ですので文化・スポーツ課基本的にはだいぶ前回とは数字が変わっております。大きく増えたもの、小さく増えたもの、小さく削られたものとありますので、今回は大きく変わったも

の2点についてご報告したいと思います。1点目は5ページの一番上、旧井上家住宅の保存と活用事業につきましては、先程いいましたように今年度は表門、表の塀等の工事をやっておりますが来年度以降からは3か年かけて二番土蔵、二番蔵の工事に入ります。その関係で前回お示したものの10倍くらい、前回政策費がはいっていませんでしたので、今回政策費入れて4千万強の予算となっております。続きまして6ページ、文化・スポーツ課の一番下の部分になります。市民体育館改修事業につきましては、先程スポーツの事業の中でお話ししました体育館関係のリニューアルになります。特に金額はちょっと小さいのですがトレーニングルーム、皆さん利用がすごく増えています。200パーセントから300パーセントというような状況になっております。その部分の増設を今度考えております。トレーニングマシン5台増やし、場所も広げるようなかたちでこの部分の充実をはかっていって少しでも汗を流していただいて、この事業がうまくいけば介護予防にもつながるのではないかと期待をもってこの部分を増やしております。約1千万弱の金額になっております。以上です。

○図書館長補佐：図書館について報告させていただきます。図書館、資料の収集ということで2728万5千円確保しております。平成27年今年度と比べると、今年度2653万2千円でしたのでだいぶ図書館費の中で調整をしましてこれだけの額を確保できたということになっております。以上です。

○鳥の博物館長：鳥の博物館7ページになります。前回から大きく変わったというか決定したことは政策費関係で特に博物館施設設備の維持管理のところ空調設備の更新が大きな項目になってきます。これが確定しております。26年使ってきて稼働し続けて来て老朽化してきた空調設備の対応年数が過ぎましてそれを交換する工事です。工事期間はお客さんの少ない時期、あるいはイベントのない時期ということで11月7日ちょうどジャパンボードフェスティバルの終わった時期から三カ月くらい1月の末あたりまでおこないます。この期間は工事の色々な資材の搬入とお客さんの入る通路と同じということで、どうしても休館せざるを得ず3か月休館させていただくことになります。その他備品のフクロウカメラ、博物館近くの林のフクロウの巣箱に設置し映像をライブ配信しているカメラも10年くらいたちまして故障がでてきていますので来年度更新いたします。その他については12月にお知らせしたものと同じです。以上です。

●渡邊委員長：トレーニングルームの体育館の常設場所は限られていますがどこか広げるとか。

○文化・スポーツ課主幹：今のトレーニングルームから会議室の最初の扉のところにパーテーションで区切って増設というか広げ、有酸素運動系のマシーンを移動します。

(3)「我孫子市第三次生涯学習推進計画」の策定について【資料3】生涯学習課より報告。

○生涯学習課長：「第三次生涯学習推進計画」が2月12日に開催いたしました生涯学習推進本部会議において決定いたしました。その報告を今回させていただきます。「生涯学習第三次学習計画」については前回の第2回社会教育委員会議で報告しておりますが、その内容は今回配布しております生涯学習推進計画の内容とほぼ変わってはおりません。文言の整理、写真等を入れて見やすくはなっております。少し変わったところを言いますと第3章23ページからになります。11月にご説明したところで言いますと施策の展開方向というところで11月では施策があつてそのあと施策の展開というところでいくつか例をあげているだけだっ

たのですが今回の推進計画では施策の方向、施策があってその説明と展開ということで項目があり、そのあとに説明を加えております。それと4章はそれほど変わっておりません。5章の資料が53ページから策定経緯等があったのですが、策定部会の設置要綱、生涯学習審議会進例を載せております。用語の説明も少し、ほとんど内容的には変わっておりません。これからですが、まだ印刷をかけていないのですが3月末までには印刷をしてお配り出来たらと思っております。今少し写真を入れておりますがさらにイラスト等を入れてできるだけ見ていただけるような形にしていきたいと思っております。以上です。

(4)「我孫子市生涯学習審議会条例」の制定について【資料4】生涯学習課より説明。

○生涯学習課長：我孫子市生涯学習審議会条例の説明。資料の4になります。これも11月の会議の中では社会教育委員を廃止いたしまして、あらたに生涯学習審議会条例を設置する話をしております。条例の原文がこちらになります。これについても今回の議会で可決いたしました。4月1日から施行されております。内容ですが生涯学習審議会の所掌事務として、まず生涯学習に関わる全般的な事項について調査、審議し意見を述べてもらう。それに2号として今まで社会教育委員の皆さんに委員の所掌事務としておこなっていただいております。社会教育の第7条に指定することも生涯学習審議会でおこなっていくというかたちをとっております。それから組織ですが3条で委嘱区分を設けております。これは今までの社会教育委員の委嘱とほぼ同じです。変わっているところは、生涯学習の関係者、これは今まで社会教育の関係者ということで家庭教育とかそういうかたちでしたが、この中に全部含めるということです。今予定している人数は学校教育の関係者が1名、生涯学習の関係者が10名、学識経験を有する者が2名、公募の市民が2名ということです。で、任期、委員の定数これは今の社会教育委員と全く同じです。次のページの第7条ですが、生涯学習審議会もこの会議と同様部会を設けることができる、必要に応じて設けることができるとしています。以上です。

●渡邊委員長：4月1日から施行なので委員の推薦状況はどういうふうなスケジュールでやるのでしょうか。

○生涯学習課長：公募につきましては4月1日の広報で公募していく予定です。各関係団体からの推薦については今依頼をさせていただいているところです。

●渡邊委員長：公募は4月1日の広報からで、あとからメンバーが決まるということですね。

○生涯学習課長：公募は一応レポートをお願いするなかたちで、それを期間内でいただいてその後選考委員会によってしておりますので、大体4月中になってしまうのかなと思っております。

●渡邊委員長：他にご質問はありませんか。これで審議の方を終了したいと思います。お疲れ様でした。